

邑田 仁：日本新産のアマクサツチトリモチ *Balanophora subcupularis* (ツチトリモチ科)

東京大学大学院理学系研究科附属植物園

Jin MURATA: *Balanophora subcupularis* (Balanophoraceae), New to Japan

Botanical Gardens, Graduate School of Science, the University of Tokyo, Bunkyo-ku, Tokyo, 112-0001 JAPAN
E-mail: murata@ns.bg.s.u-tokyo.ac.jp

Summary: *Balanophora subcupularis* P. C. Tam, hitherto known from China and Myanmar, was found in Kumamoto Prefecture for the first time in Japan.

日本産のツチトリモチ属には花序が両性の2種リュウキュウツチトリモチとキイレツチトリモチ、および雌株だけが知られ単為生殖により維持されていると考えられるツチトリモチの仲間数種が知られていた。ところが2014年になって、熊本県地域・文化振興局文化企画課の天野守哉氏より、クモ類の研究者である入江照雄氏が熊本県天草で、花序が両性の種を新たに発見したとの連絡があった(図1)。液浸標本および写真にもとづいて検討した結果、この種はこれまで中国などで知られていた *Balanophora subcupularis* であることが明らかとなったのでアマクサツチトリモチと命名し、和文記載とともに報告する。証拠標本(2014年12月2日熊本県天草市、採集者入江照雄)は熊本県博物館ネットワークセンターと東京大学植物標本室(TI)に納めた。

Balanophora subcupularis P. C. Tam, Fl. Fujian 1: 602 (1982); S. Huang & J. Murata, Fl. China 5: 274 (2003).

葉緑素を持たない寄生植物。塊茎は寄主の細根に生じ、直径1.5–2 cm程度の小塊が合着したような形状で、全体の直径6–8 cm、地表近くに位置し、淡黄褐色、表面には粒状のざらつきがあり、白っぽい星形の皮目がある。11月頃、小塊の内側から各1個の花茎を出し、花茎の高さ6–8 cm程度、全体赤紫色、葉は鱗片状で8個程度あり、

やや2列に互生。花穂は卵状長楕円形で花茎に頂生し、長さ2 cm幅8 mm以下、基部に雄花を2列ぐらい着け、それ以外は棍棒状で微細な小棍体に被われる。雄花は白色、花被はふつう4裂し、裂片は卵状長楕円形で長さ1.5 mm、平開し、中央に花被と同数の葯をつける集合雄蕊があり白色の花粉が目立つ。雌花は微細で黄色、小棍体の間に多数つき、花時には雌しべの先が小棍体より長くなるので花穂が白っぽく見える。

新和名：アマクサツチトリモチ。

本種はリュウキュウツチトリモチ *B. fungosa* J. R. Forst. & G. Forst. に似ているが、全体に小型であり、花穂がより細長い点で異なる (*subcupularis* という形容語のとおり花穂はドングリに似た形状である)。特に塊茎に明瞭な皮目を生じることで、皮目のないリュウキュウツチトリモチからはっきりと区別できる。本種は比較的最近1982年に中国から記載され、*Flora of China* (Huang and Murata 2003) では中国南部に広く分布が認められている。また、ミャンマー北部のインド国境付近でも発見されている (Tanaka et al. 2003)。今回発見されたのは本種の分布の東限であり、熊本県天草市の、耕作放棄後30年から40年くらい経った二次林内、寄主はハゼノキおよびムクロジと推定される(天野守哉氏による)。

摘要

熊本県天草市で発見された日本新産のツチトリモチ属植物が、これまで中国・ミャンマーで知られていた *Balanophora subcupularis* P. C. Tam で

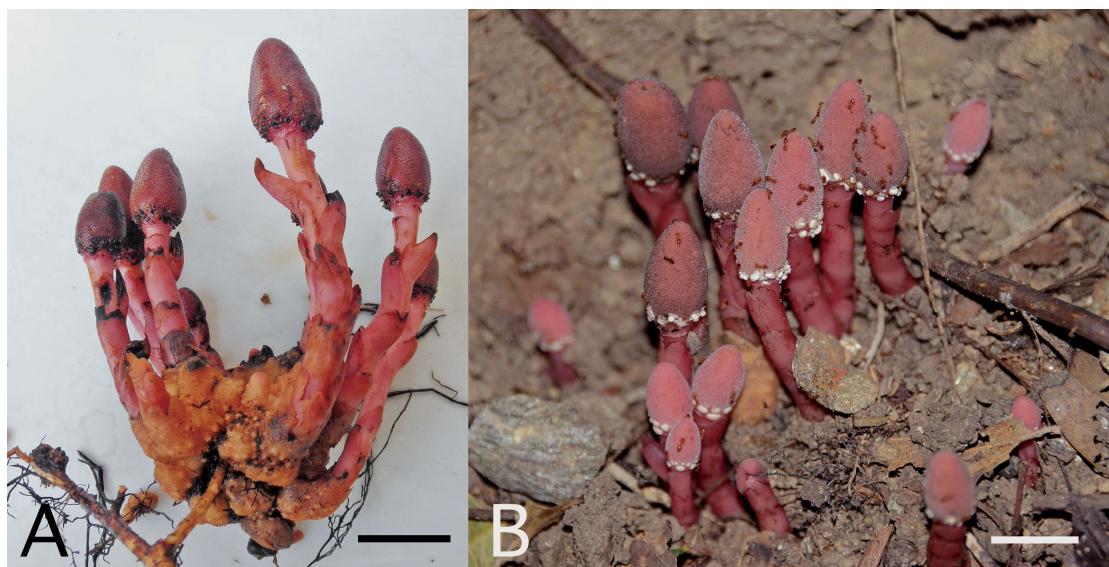


図1. 天草で新発見のアマクサツチトリモチ *Balanophora subcupularis* P. C. Tam. Bar = 1 cm. A. 2014年12月3日入江照雄氏撮影. B. 2015年10月27日天野守哉氏撮影. 花序に多くのアリがたかっている.

あると確認したので、アマクサツチトリモチと命名して報告する。

引用文献

Huang S. and Murata J. 2003. *Balanophora subcupularis*. In: Wu Z.-Y., Raven P. H. and Hong D.-Y. (eds.), Flora

of China 5: 272. Science Press, Beijing and Missouri Botanical Garden, St. Louis.

Tanaka N., Kobayashi S., Ohi-Toma T. and Murata J. 2006. New or noteworthy plant collections from Myanmar (1). *Hydrobryum japonicum*, *Balanophora subcupularis*, *Rhopalocnemis phalloides* and *Sonerila laeta*. J. Jpn. Bot. 81: 324–331.